

2026年 1 月 8 日 第2636回例会
1 月第 1 例会

RI会長メッセージ: UNITE FOR GOOD
「よいことのために手を取りあおう」

本年度会長テーマ
「ロータリーの友情を育もう」

「職業奉仕月間」

◆ 会長時間 ◆

小橋会長



新年あけましておめでとうございます。

今年の干支 午年は、エネルギーと行動力が高まる年とされています。午年の歴史を見るときに見逃せないのが「丙

午（ひのえうま）の迷信」です。丙午は60年に一度巡ってきますが、直近の丙午は1966年「昭和41年」でした。この年に生まれた女の人は60歳になるわけですが、小泉今日子さん、鈴木保奈美さん、斉藤由貴さん、国生さゆりさん、有森裕子さん、小谷実可子さん、そして広島では、我が西RCの玉木ひろみさんと長尾美晴さんが有名です。

今年2026年は昭和100周年となります。その間、世界恐慌や第二次世界大戦の苦難を乗り越え、高度経済成長やバブル経済などの繁栄を経験しました。その一方で、日本は超高齢化社会に直面しています。団塊の世代が後期高齢者となり、人口の5人に1人が75歳以上になると予測される中、医療や介護体制、社会保障制度への負担が深刻化しています。昭和100年という時間の重みを感じ、時代の記憶を共有し、その意義を改めてかみしめながら未来に向けた新たな希望を育む年にしたいものです。

今年2026年が、皆様にとりまして、輝かしい1年になりますよう祈念いたします。

米山記念奨学会 米山功労者感謝状の伝達



第1回 玉木 ひろみ 君



第1回 柳原 邦典 君



第2回 部谷 俊雄 君



第2回 田島 慎也 君



第3回 香川 基吉 君



第3回 片山 恵太 君



第5回 坂田 恵希 君
(ピンバッジあり)



第9回 金本 善行 君

米山記念奨学会特別寄付金の累計額が

51,420,750円となりましたので、米山
功労クラブとして感謝状が届きました
(100万円毎 第51回)

● 委員会報告

✳ プログラム・出席委員会

出席報告 玉木委員長

本日（1月8日・木曜日）

会員数 93名 出席者 82名

欠席者 11名 ご来客 2名

ご来賓 0名 ゲスト 1名

計 85名

4週前の例会2025年11月27日・木曜日

出席率 100%



✳ 米山奨学委員会

熊本委員長

第2710地区米山学友会賛助会員のお願い

● 青少年交換派遣学生 月例報告書（1月分）

■ Jack Tyler Hampton

● 近況等の報告

現在のホストファミリーでは、本当に素晴らしい時間を過ごしています。私と同年代で同じ学校に通う人たちと一緒に暮らせるのはとても助かります。ホストシスターの友達を通じて友達を作り、交流を深めることができました。

クリスマスや新年会などのイベントを通じて、直接のホストファミリー以外の人たちとも繋がることができました。こうした交流を通じて語学力が向上していると感じています。

全体的に、現在のホストファミリーにはとても満足しています。

● 同好会報告

🀄 紫雀会

鈴木世話人

紫雀会12月例会は第3木曜日がクリスマス例会のため一週間繰り上げでの開催となりました。

2025年最後の麻雀は前半戦から圧倒的プラス点を打ち出した小橋会長が圧勝されました。2位は高田さん、3位は笹野君となりました。この日は勝ち負けに大きな差が出た1日となりました。

次回例会は来週1月15日第3木曜日午後6時よりいつもの麻雀マックでの開催となります。

🀄 紫友会

穴戸世話人



紫友会第6回例会は12月13日、広島ゴルフ倶楽部鈴が峰コースにて開催いたしました。当日はやや肌寒さを感じましたが、ラウンドには全く支障無く、気持ちよくプレーできました。

冬の鈴が峰特有の高速グリーンに多くの方が苦戦する中、見事優勝されたのは長谷川（行）君です。スコアはOUT49 IN54 H.C.34 ネット69。さらにシニア・グランドシニア・VFツアーでも優勝され、4部門完全制覇という圧巻の成績でした。おめでとうございます！2位にはOUT37 IN37の田原君がベスグロとともに。3位には長谷川（剛）君、ブービー賞は中村（哲）君でした。

また皆さまにご好評いただいているVFツアーは田川君が4,390万円と依然として独走中であり、2位との差は890万円と大きくリードを広げています。

ラウンド終了後、場所をルッソクラブに移して忘年会を開催いたしました。終始和やかな雰囲気の中、ビンゴゲームやじゃんけん大会で大いに盛り上がり、来年への活力となる楽しい時間となりました。一方で、世話人の司会進行が不慣れであったことに加え、乾杯・中締め の段取り、さらに代表世話人の不在が重なり一部混乱が生じた事をお詫びいたします。

次回例会は明後日1月10日、広島ゴルフ倶楽部鈴が峰コースにて開催いたします。VFツアーはユウベルクラシック。賞金総額は1億円越え。優勝賞金2,300万円となっております。

出場される皆さまのご健闘をお祈りいたします。

● 会員記念日

🌸 1月お誕生日おめでとうございます。

(8名)

岡野君	石山君	荒谷君
金本君	菊地君	諏訪君
井原君	櫻段君	



● スマイルボックス SAA 長谷川(剛)委員長

👤 来訪の広島城南RC 幹事 高藤さん、レーミンアインさん

広島城南RCの今年度幹事の高藤と今期入会したレーミンアインです。

レーミンアインさんは2017-18年度の米山奨学生として当クラブが世話クラブでした。一度ベトナムに帰り、再び広島に来られ2023年2月に広島市西区三篠町に外国人に特化した人材紹介の会社を設立、そして先月当クラブに入会いたしました。米山奨学生出身のロータリアンは広島では初めてのようです。まさしく、日本との懸け橋になっている方だと思います。

そして、来月ホストクラブとして開催するIMは広島コンベンションホールとシェラトングランドホテル広島にて設営準備を進めております。是非ご参加ください。引き続きよろしく願いいたします。

👤 山縣君 (大枚)

年の瀬も大詰めを迎えた30日、次男 亮太が入籍を発表しました。実際は少々前だったのですが、発表について何も聞かされていなかった親は突然のことで大変でした。香川(浩)副会長からのLINEではじめて知ったような次第です。お相手は大学の後輩で川崎市在住の「女性」で大変いい子です。

何はともあれ、大枚を出宝いたします。これからもご指導のほど、よろしくお願いいたします。

👤 森脇君 (大枚)

あけましておめでとうございます。

初詣で多数の参拝者がありました。約10万人と警察が発表していました。

今年一年が良き年でありますことを祈念しています。

👤 古本君 (自主申告・金一封)

昨年の12月13日(土)、平和記念公園「平和の池」の清掃を総勢25名で行いました。

小橋会長、山縣幹事、世話人の前橋直前会長と原君、ジャック君、インターアクトの生徒や先生とロータリーメンバーで、雨も心配されましたが無事に終了しました。

古本は読売新聞オンラインに写真とともに掲載されました。喜んで出宝いたします。また、その写真に写っているのは佐々木君と思われます。

👤 齊藤君 (自主申告・トリプル)

先日の家族同伴懇親会での福引きで、中村(光)君ご提供の「グランピングリゾート大島無料宿泊券」が当たりました。

昨年の夏、娘たち家族と一緒に宿泊して楽しい時間を過ごしましたが、今回は夫婦二人でゆっくりしたいと思っています。

👤 新年 全員出宝

改めまして、明けましておめでとうございます。

新年を祝し、会員皆様のご健勝、ご多幸と、広島西RCの更なる発展を祈念し、全員出宝をお願いいたします。

本年もよろしくお願いいたします。

それ以降ですが、入会后、紫友会に入会し、2年続けて世話人をする。紫風会にも入り、日本酒好きになって肝機能が低下。平成29年度に、村上智亮執行部の副幹事を拝命。令和6年度、広島弁護士会の会長を務め、例会から足が遠のくが、令和7年の途中から、例会に本格復帰し、現在、懸命にリハビリ中。以上です。ご静聴ありがとうございました。



昭和41年生まれ
玉木ひろみ君

私が生まれた丙午という年は、昔から「丙午の女は気性が激しく、男を食い殺す」などと言われてきました。実際、1966年は出生数が極端に減った年でもあります。「この年に生まれた娘は大変だ」「嫁のもらい手がなくなる」そんな迷信が、まことしやかに信じられていた時代でした。迷信とはいえ、それほどまでに人の心に影響を及ぼしたという事実は、無視できないものがあります。

なぜ、この迷信は生まれたのかについて調べてみますと、丙午の迷信の背景には、江戸時代に語られた「八百屋お七」の物語があるとされています。

お七の家は天和2年の大火で焼け出され、お七は親とともに正仙院に避難しました。寺での避難生活のなかで、お七は寺小姓：生田 庄之介と恋仲になります。やがて、店が建て直され、お七一家は寺を引き払ったが、お七の庄之介への想いは募るばかり。そこで、もう一度自宅が燃えれば、

また庄之介がいる寺で暮らすことができると考え、庄之介に会いたい一心で自宅に放火してしまいます。火はすぐに消し止められ、ボヤでとどまりましたが、お七は放火の罪で捕縛されて鈴ヶ森刑場で火あぶりにされました。

情熱的な恋の末に罪を犯し、命を落とした女性お七。その年が丙午であったことから、「情の激しい女性＝丙午」という印象が結び付けられました。そして、八百屋お七の物語は、井原 西鶴の『好色五人女』に取り上げられたことで広く知られるようになり、現代では、歌手：坂本冬美の「夜桜お七」で歌われています。

ここで注目すべきは、なぜ“女性の激しさ”だけが、これほど強く戒めとして語られたのかという点です。当時の社会において、女性は控えめであること、従順であることを求められていました。その枠を越える存在は、不安や警戒の対象となり、語り継がれていったのではないかと思います。

今でも、私が丙午生まれであることを話題にすると、男性の方々には、「それで強いのか…」との反応を楽しんでいる自分がいます。



● 卓話予告

日時	テーマ
1/22(木)	「広島のみちづくりの現状」 津村 昌史 君

例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 小橋 敏幸
幹 事 山縣 浩一

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
作 成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索

